

タイトル (活動概要)	104 ゲー・チョコキ・パーおに	アプローチ (関連する力)	「仲間づくり」⑧ ⑭ 「集団づくり」⑱		
タイミング (実施時期)	クラスの友だちが分かり始めてから(通年)	活動場所	校庭・体育館	所要時間	15分～45分
対象学年	幼・小低・ 小中 ・ 小高 中1・中2・中3・高	対象規模	学級	活動場面	体育・学級活動
活動のねらい	<p><背景>仲間と同じ目的に向かって協力し、達成感を感じる経験が少ない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゲームの中で感謝や励ましなどの言葉かけをすることができる ・お互いに助け合って楽しくゲームができるように作戦を相談することができる 				
準備	校庭：ラインカー 体育館：マット3枚(グループ全員が入れるくらいの陣地が正三角形の頂点に位置するようにする) ・審判用ホイッスル ・ストップウォッチ				
学 習・活 動		支援の観点・留意点等		資料等	
1 導入		チームで協力してゲー・チョコキ・パーおにをしよう			
2 主活動					
○やり方を知る					
				<ul style="list-style-type: none"> ・男女混合の3チーム(ゲー・チョコキ・パー)を作り、ゲーはチョコキを、チョコキはパーを、パーはゲーをつかまえ、自分の陣地に捕虜として連れてくる ・捕虜を連れてくる人を途中で捕まえてはいけない ・つかまえられた捕虜は、味方がタッチしたときに逃げるができる ・捕虜が増えたときは、手をつなぎ長くなり、助けを求める ・味方がタッチした後の捕虜は解放される(先頭にタッチすれば、全員が解放される) ・手が離れていると、先頭がタッチされても解放にはならない ・捕虜の最後尾は陣地のラインに片足が入っていないといけない ・各チームの陣地の中にいる人、陣地のラインに体がふれていけばつかまえられる ・1チームが全員捕虜になったらそのチームが負けとなり、ゲームは終了する 	
2 主活動					
○各チームで作戦を話し合い、ゲームをする					
3 ふり返り					
・ゲームの中で気がついたことや感じたことを出し合う					
配慮事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ルールを分かりやすく知らせ、ゲームを楽しめるようにする ・繰り返し行うことで、作戦をたて、工夫できるようになる 				

参考：楽しい授業編集委員会編「教室の定番ゲーム」 仮説社、1995年